



RI会長 ステファニー・アーチツク
2640 地区ガバナー 野村 壮吾

2024-2025年



Rotary District 2640 Japan

創立50周年

ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

海南東ロータリークラブ

会長 田岡 郁敏 幹事 楠部 均 SAA 前田 誠吏

第 2220 回例会

2025 年 5 月 26 日(月)

海南商工会議所 4F 12:30～



ゲスト卓話 和歌山県ソフトボール協会
理事長 宮本 和幸 様



1. 開会点鐘
2. ロータリーソング 「我等の生業」
3. ゲスト紹介 和歌山県ソフトボール協会
理事長 宮本 和幸 様
4. 出席報告
会員総数 40 名 出席者数 24 名
出席義務規定適用免除会員 2 名
出席率 63.15% 前回修正出席率 68.42%

5. 会長スピーチ 会長 田岡 郁敏 君

皆さまこんにちは。先週は海南東ロータリークラブ家族例会に多くの会員の皆様、ご家族の皆様に参加していただき本当にありがとうございました。また岡親睦委員長はじめ親睦委員の皆様にも大変お世話になりました。この場をお借りして感謝の意を伝えたいと思います。



本日は、お客様として、和歌山県職業能力開発協会・技能振興コーナー長をされ、また、和歌山県ソフトボール協会理事長の宮本和幸様にお越しいただいております。私は宮本様とは2年前耐久高校で開催されました和歌山県高等学校同窓会連絡協議会で、お会いして同じ円卓でお話しさせていただいたことがあります。箕島高校の同窓会長もされておられます。本日はお忙しい中お越しいただきありがとうございます。後ほど卓話、よろしくお願いいたします。

それでは5月15日に開催いたしました5月理事会の報告をさせていただきます。まず、次年度のクラブ協議会(ガバナー補佐訪問)を7月28日12時30分より、ガバナー訪問が8月4日の12時30分より夜間例会を昼例会に変更して行うこととなりました。

5月は「青少年奉仕月間」です

クラブ活動報告に掲載する委員会活動報告の提出期限を6月末日とさせていただくことになりました。報告される方よろしくお願いいたします。

フィリピンサンミゲルデマユモ RC からの活動支援のリクエストに対し現在羽曳野 RC より協力の申し出がありました。先週には和歌山城南 RC から問い合わせが来ています。

次に50周年記念事業最終決算報告が行われ承認されました。また、その場で残金を次年度以降の記念事業積立金と特別積立金に繰り出すことも承認されました。

米山記念奨学寄附金に関して当クラブから50周年創立特別寄付を行うことが承認されました。最後に5年ぶりに紀美野町文化センターで開催される世界民族祭に米山奨学生のキョ・シルさんと一緒に参加してはどうかとの提案がありました。この件は現在前向きに検討されています。本日は以上です。

6. 幹事報告 幹事 楠部 均 君

○例会臨時変更のお知らせ

- | | | |
|----------|-----------------|------------------------------|
| 和歌山南 RC | 6月13日(金) 18:30～ | ダイワロイネットホテル和歌山
(最終夜間例会) |
| 高野山 RC | 6月20日(金) 12:30～ | 珠数屋四郎兵衛2F 最終例会 |
| 和歌山北 RC | 6月23日(月) 18:30～ | ダイワロイネットホテル和歌山4F
(最終夜間例会) |
| 和歌山東南 RC | 6月25日(水) 18:30～ | ホテルアバローム紀の国
(最終親睦夜間例会) |

○例会休会のお知らせ

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 高野山 RC | 5月30日(金) | 6月27日(金) |
| 和歌山東南 RC | 6月4日(水) | |
| 和歌山南 RC | 6月20日(金) | 27日(金) |
| 和歌山北 RC | 6月30日(月) | |



四つのテスト 言行はこれにあらわすから

- ①真実かどうか ③好意と友情を深められるか
②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか

Rotary



事務所 〒642-0002

海南市日方 1294 (海南商工会議所 4F)
TEL:073-483-0801 FAX:073-483-2266

http://www.kainaneast-rc.jp

E-mail: info@kainaneast-rc.jp

7. ゲスト卓話

和歌山県ソフトボール協会
理事長 宮本 和幸 様

元和歌山県高等学校体育連盟 会長
元県立和歌山北高等学校校長
元県立田辺工業高等学校校長



「わが人生はひとづくりから」

このたびは海南東ロータリークラブ様のご依頼によりまして、本日の卓話の機会をいただき誠にありがとうございます。大変光栄に存じます。本日は「わが人生はひとづくりから」と題してお話をさせていただきます。

ロサンゼルス 2028 オリンピック競技大会で女子ソフトボール競技が東京オリンピック以来 8 年ぶりの開催が決定しています。女子ソフトボール競技が復活することとなり関係者の一人として大変嬉しい限りであります。1921 年にソフトボールがアメリカから日本に伝わり、104 年になります。私の人生においてソフトボール競技は切っても切り離せられない存在です。

私とソフトボールとの出会いは昭和58年の箕島高校男子ソフトボール同好会に始まります。あれから42年、インターハイにおいては昨年まで41年連続の日本出場記録を更新してくれました。とりわけ、昭和62年のインターハイ準優勝をはじめ平成3年3月の全国高校選抜大会での優勝や石川国体3位などの輝かしい戦績を残すことができたことは大変光栄であります。教育界に身を置き今までの68年間の人生の中心にはソフトボールが常に存在していました。25歳の若さで母校箕島高校の教員として奉職し、男子ソフトボール部を創部(昭和58年)して以来、昨年で41周年を迎えた同部は、今年度は部員がゼロとなりその伝統に陰りがでています。



☆インターハイ 準優勝 (昭和62年：北海道)



☆全国選抜大会初優勝 (平成3年：横浜)

情熱と信念を持ち続け、常に挑戦者としての立場で、選手には厳しい躰と人格形成の場としてのソフトボールを指導してきたことが果たして良かったのか、数々の思い出と教え子たちとの出会いの日々を今、振り返る毎日であります。昭和58年から平成15年春までの20年間で監督として指導にあたり、通算42回の全国大会へ出場できたことは、正に素晴らしい選手との出会いがあつたからこそ、多くの教え子たちとの出会いとその保護者の皆様のご支援に感謝を申し上げたい。平成15年4月から平成26年8月までの12年間は、教え子の森井啓宏先生がこの伝統を受け継ぎ、全国選抜大会優勝や第3位、岐阜国体準優勝などの輝かしい戦績を残し



☆全国高校選抜大会2度目の優勝 (平成22年：静岡)

てくれました。

また、その後は3代目の花田和也先生が、更なる新しい歴史を残せるように日々、宮原校舎のグラウンドで熱心な指導にあたってくれていましたが、昨年の夏のインターハイを最後に部員がゼロとなり、現在は活動が休止の状態となっています。私は平成15年3月の全国高校選抜大会への出場を最後に20年間の監督生活に終止符を打ち、和歌山県高等学校体育連盟の専門委員長や専門部長、更には和歌山県高等学校体育連盟会長として、多くの高校スポーツの振興に関わることができ、その要職を全うさせていただきました。

また、平成15年から9年間にわたり(公財)日本ソフトボール協会選手強化本部の強化委員として全日本ジュニアチームの育成やアテネ、北京オリンピックの選手選考に関わり、平成17年6月にはカナダ・プリンスエドワード島で開催された第7回世界男子ジュニア選手権大会(U19)にもコーチとして参加、銀メダルを獲得するなどソフトボール冥利に尽きる素晴らしい思い出を残すことができました。



2年後の2027年に箕島高校は創立百二十周年を迎えます。男子ソフトボール部もこれまで 300 名を超える卒業生を輩出してきましたが、廃部の危機に直面しております。夢と希望をもって育ててきたソフトボール競技の活動は今も受け継がれて、教え子たちがクラブチームとしてサンコー和歌山 SBC のチームに所属し、国民スポーツ大会や全日本総合選手権大会などの全国大会への挑戦を続けています。

箕島高校男子ソフトボール部がこの41年間で達成した記録は全国優勝2回、準優勝2回、第3位2回に加えベスト8の入賞は、枚挙にいとまがない程の結果を残すことが出来ました。今後は、育った多くの教え子たちが、ソフトボール競技の明日を担って行ってくれるものと確信しています。また、近い将来に男子チームのオリンピック競技への正式加入が実現することを今は夢見しています。

集大成として臨んだ、2015年の「紀の国わかやま国体」では成年男子の監督を務め、教え子たちとともに戦えたことは生涯忘れえぬ大きな思い出となりました。ソフトボールを通して結ばれた多くの絆は、私の宝であり、多くの皆様よりいただきましたご支援とご声援は私にとっては、大きなエネルギーの源でもありました。今日までの私の人生を支えていただきました皆様に改めて感謝を申し上げます。

平成29年3月に35年間の教員生活に終止符を打ち、5年間の県立体育館、武道館の館長を経て現在は「和歌山県職業能力開発協会」内にある和歌山県技能振興コーナー長としてのお仕事をさせていただいております。主な業務内容につきましては、厚生労働省の委託事業として若年技能者人



材育成支援等事業(ものづくりマイスター派遣事業)を遂行しております。県内の中小企業や工業高校等への「ものづくりマイスター」を派遣する業務や小中学生への「ものづくり魅力発信」事業を行っています。

また、明日の和歌山県の産業を担ってもらえる「地域産業の担い手」の育成に関わるお仕事をさせていた



だいております。大変、遣り甲斐のある仕事で、この年になっても充実した日々を送らせていただいています。振り返れば、私の辿ってきた人生は、ソフトボール競技を通じた人材育成に始まり、集大成は工業高校等への

技能振興や小中学生へのものづくりの魅力発信に関わることで明日の和歌山県を担って貰える人材育成に少しでもお役にたてればと思っています。これから和歌山県の小中学校の児童・生徒や工業高校等の生徒の成長に関わって行きたいと思っています。本日は、ご清聴いただきありがとうございました。

8. 閉会点鐘

次回例会

第 2221 回 2025 年 5 月 2 (月) 19:00～
海南商工会議所 4F
お誕生日、結婚記念日のお祝い



ニコニコ・BOX

田岡 郁敏 君	宮本様、本日はお忙しい中、ありがとうございます。卓話、宜しくお願
	いいたします。
楠部 均 君	〃
前田 誠吏 君	〃
寺下 卓 君	宮本理事長、本日はありがとうございます。
角谷 太基 君	〃



世界中で活躍する「行動人」

米国

サンディエゴにある軍墓地「ミラマー国立墓地」に立つアメリカの国旗からインスピレーションを得たリック・クラークさん(ラホーヤ・ゴールドen・トライアングル・ロータリークラブ元会長)は、そこに埋葬された兵士たちにロータリークラブが同様の方法で敬意を表することができるかどうかを墓地の職員に尋ねまし

た。ベトナム戦争の退役軍人であり、米海軍建設大隊に所属していたクラークさんは、第 5340 地区のリーダーたちと協力し、



「2024 Operation

Flags for Vets(2024 年退役軍人のための国旗作戦)」と呼ばれるプロジェクトに参加する 400 人のボランティアを募集しました。このイベントのもう一人の運営者であるマイケル・フカさん(ランチョ・ベルナルド・ロータリークラブ会員、元海軍大尉)は、「このイベントは、感謝の気持ちを伝えてきた無数の生存者を含め、非常に多くの人に影響を与えた」と述べています。地区は、今年のメモリアルデー(戦没将兵追悼記念日)に再びこのイベントを催す計画を立てており、軍人・退役軍人に関連するプロジェクトを担当するために結成された新しい地区委員会がこれをサポートしています。委員会は約 14,000 ドルの募金に助力しました。

メキシコ

1 月、プエブラ州のテワカン・グラナダス・ロータリークラブが共催した「Blessing of the Animals(動物



に祝福を)」イベントの主役は、犬、猫、ウサギといったペットたちでした。「今年のイベントには、約 1,000 匹のペットと約 3,000 人が参加しまし

した」と話すのは、クラブ会長のパオラ・オルティス・ゴメスさんです。このクラブは、動物保護団体 TAC Una Protección al Entorno A.C.と協力して、2022 年以来、特別なミサを開催してきました。「私たちは皆、人間以外の生命を尊重する文化を育むことで、人間の生命も尊重するように教えることができると信じています」とゴメスさん。「(このミサには)家族全員が出席し、ペットも祝福を受けるだけでなく、獣医のケアを受けることができます。また、飼い主のない動物をペットとして引き取ったり、家のない動物のために寄付したりできます」

オーストリア

オーストリアのロータリー 100 周年を祝うため、長年のロータリアンである二人のジャーナリストが、会員



だけでなくすべての人にインスピレーションを与えるポッドキャストを立ち上げました。12 月からこの「Rotary Reloaded」ポ

ッドキャストを開始したのは、クリスティアン・ハウナーさん(フライシュタット・ロータリークラブ)とヴェレナ・ハーン-オーバーターさん(ペルク・ロータリークラブ)です。ドイツ語による番組では、ロータリー内外の著名なゲストを迎えて話をします。「リスナー対象者は、ロータリアンに限らず、すべての人」とハウナーさん。「番組では、個人的な視点で話をしたいと考えています。ロータリーが人びとの生活にもたらす意義について個人的な観点でゲストに話すという、これまでと違ったアプローチです。また、ロータリーはモダンな存在であり、社会に必要とされていることについても話します」。共同司会者を務めるハーン-オーバーターさんも、ドイツ・オーストリアの会員向け地域雑誌『Rotary Magazin』の取材で、次のように語っています。「ロータリーの 100 年の歴史を土台として、私たちは未来に目を向けています」

南スーダン

南スーダンに発送された 10 万冊以上の本が、学生たちの手に渡っています。2024 年、法律や薬学、そのほかの科目の教科書に加え、33,000 冊分の教科書が保存された 11 台のパソコンがジュバ・ロータリークラブに送られました。その費用は、150 万ドルを超えています。「インターネットの問題により、全学生がオンライン情報にアクセスできるわけではありません。学生たちにとって、これらの本は大きな価値があります」と、クラブ元会長のサイモン・ヨンゴさんはいいます。この発送は、米国ミネソタ州の非営利団体「Books for Africa(アフリカのために本を)」が、一部ロータリアンの支援を受けて手配したものです。ユネスコや米国国防総省の人道支援部門との連絡はロータリーのシニアリーダーが手伝ってくれたと、プロジェクトリーダーのチャールズ・コーガンさん(米国、ノースフィールド・ロータリークラブ会員)は言います。「一つのコンテナによる小さなプロジェクトが、10 万冊以上の本が入った五つのコンテナのプロジェクトになる上で、このパートナーシップがカギとなりました」とコーガンさん。このプロジェクトは、米国ミネソタ州とウィスコンシン州の 14 クラブと第 5960 地区マッチング補助金の支援を受けて実現しました。



オーストラリア



オーストラリアのロータリアンと「Dream Cricket Australia(ドリームクリケットオーストラリア)」が主催するクリケットをテーマにした活動を通じて、障がいのある選手もプレイを楽しむことができます。クリケット組織の理事でもあるアンキッ

ト・アガルワルさん(アデレード・ロータリークラブ会員)は、「このプログラムの主な使命は、インクルージョンと身体活動を促進すること」と述べます。11 月には、初の「ドリームクリケット・ガラ」イベントを実施して一連の屋外活動の締めくくりとしました。アガルワルさんを含むクラブ会員が、この行事の企画と参加者への指導を担当しました。クラブは、3,000 ドル以上の補助金を提供してこの活動を支援し、地元高校からボランティアを募集しました。



ロータリー行動グループ

ロータリー行動グループは、特定の分野(経済開発、平和構築、中毒予防、強制労働の撲滅、環境の持続可能性など)で活動する、独立したロータリー関連組織です。

ロータリー会員ならびに会員以外の人びとが組織する行動グループでは、グループが焦点を当てるトピックにおいて知識、経験、関心を持つ世界各地のメンバーが活動しています。行動グループのメンバーは、有意義な奉仕活動に参加し、持続可能な変化をもたらすために、専門知識やグローバルなネットワークを生かしています。

行動グループは、ロータリークラブや地区に専門知識、パートナーや資金調達、プロジェクト管理に関するアドバイスを提供し、世界各地の地域社会における重要な問題に対してより大きなインパクトをもたらす大規模なプロジェクトをロータリー会員が計画・実施するのをサポートします。

○37,500 人以上

150 カ国で活動するロータリー行動グループメンバーの数

○10,000 件以上

2009 年以來、行動グループが支援した人道的奉仕プロジェクトの数

○1,000 万ドル以上

2009 年以來、奉仕プロジェクトのために調達した資金額

関心を寄せる人道的問題に取り組むグローバルなグループの一員となる

- 世界で好ましい変化をもたらすための意義ある奉仕活動に参加する
- 特定の人道的問題に関連した能力や知識を深める
世界各地の行動を起こす人びとと、個人的・職業的なつながりをつくる
- ほかの人たちが専門知識を身に付けられるよう、自分の経験やスキルを生かす

<https://on.rotary.org/3FlgbFL>